

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	110001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	各種募金の促進			
事業概要	地域の福祉活動に配分される「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」を通じ福祉意識の向上を図る。			
R5の取組内容	町内会や各種団体、学校等を通じ、募金活動を行った。 令和5年度 目標額 8,825,000円／実績額 7,831,957円			
評価内容	評価指標	募金の目標達成率		
	R4	評価	評価理由	新たに募金箱を設置するなど、その確保に努めたものの、目標には届かなかった。
	92.1%	B		
	R5		今後の課題	今後も募金箱の設置を促進するとともに、イベント募金や募金箱の設置場所を拡大していく必要がある。
88.7%				

事業No.	110002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	広報紙(社福だより)の発行			
事業概要	地域福祉についての情報提供や福祉意識の啓発のため、社福だよりを年4回発行する。			
R5の取組内容	2月、5月、8月、11月の年4回発行した。			
評価内容	評価指標	広報紙(社福だより)の発行の有無		
	R4	評価	評価理由	計画どおり年4回発行した。
	有	A		
	R5		今後の課題	限られた紙面のなかで、さらに効果的な記事の掲載を検討する必要がある。
有				

事業No.	110003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ボランティア相談事業(連絡調整員の配置)			
事業概要	社会生活の多様化により、社会福祉においてもボランティアニーズの変化や需要と供給など、ボランティア相談に対応できるよう、ボランティア活動連絡調整員(以下「コーディネーター」という。)を配置する。			
R5の取組内容	毎月第2、第4水曜日(午前10時から12時)を相談日として、コーディネーターを配置した。 ・コーディネーター 2人			
評価内容	評価指標	相談員の配置人数		
	R4	評価	評価理由	計画どおりコーディネーターを配置した。
	2人	A		
	R5		今後の課題	ボランティアに関する相談に対応できるよう、引き続きコーディネーターを配置する。
2人				

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	110004 (130004)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<地域福祉の意識づくり> 社会福祉大会の開催【重複】			
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、社会福祉の推進に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表すために社会福祉大会を開催する。(精神保健大会と同時開催)			
R5の 取組内容	令和6年2月14日(水)、第60回銚子市社会福祉大会を開催、第二部として「今日から実践! ストレスをためない生活習慣」と題した講演会を実施した。 ・市長表彰状/4人、市長感謝状/3人1団体、会長表彰状/6人、会長感謝状/4人3団体、支会長感謝状/2人6団体			
評価内容	評価指標	社会福祉大会開催の有無		
	R4	評価	評価理由	社会福祉の各分野で功績のあった方々を表彰することにより、福祉意識の向上に寄与できたものとする。
	有	A		
	R5	今後の課題	引き続き、社会福祉大会を実施することが適当と思われる。	

事業No.	120001 (130005)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<交流の促進> 福祉まじりの開催【重複】			
事業概要	様々な福祉関連団体が連携し、利用者や団体等の交流を深めるため、福祉まつりを実施する。			
R5の 取組内容	令和5年12月3日(日)、コロナ禍により4年ぶりに実施。これまでの福祉標語の募集のほか、今年度からは福祉団体の紹介中心のイベントから参加体験型のイベントとして実施した。 ・参加団体 30団体/来場者数 500人			
評価内容	評価指標	来場者数		
	R4	評価	評価理由	4年ぶりに方法を見直し実施したが、参加者からは概ね好評との意見が多かった。特に参加体験型の実施方法が評価されたものとする。
	—	A		
	R5	今後の課題	会場レイアウトや時間配分のほか、新たな団体の参加について検討が必要。また、点字プログラムの作成など、できる限り多くの方の満足度を上げる取組が必要。	

事業No.	130001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	社会福祉協議会の体制強化			
事業概要	社会福祉協議会全体の活性化を図るため、年1回以上地区会長会議を開催し、各地区社会福祉協議会の事業計画等の情報交換、助成金交付を行う。			
R5の 取組内容	令和5年6月14日 地区社会福祉協議会会長会議開催 主な議題:地区社会福祉協議会に対する支援について(助成金交付) 令和5年度事業計画について			
評価内容	評価指標	地区社協会長会議の開催回数		
	R4	評価	評価理由	地区社協の活性化のため会長会議を開催し情報交換を行ったが、限られた財源のなかでなかなか新たな活動につながらない。
	1回	B		
	R5	今後の課題	助成金の財源は共同募金の配分金が主であり、年々募金も減少し、高齢化も進む中で充実した活動を行うことが難しくなっている。	

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	130002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ファミリーサポートセンター事業の充実			
事業概要	育児の援助を行いたい者(提供会員)及び育児の援助を受けたい者(利用会員)を会員として、市民相互による育児の相互援助活動を支援(マッチング)するため、ファミリーサポートセンターを設置するもの。			
R5の取組内容	提供会員及び利用会員の募集を行うとともに、相互援助活動のマッチングを行った。また、今年度は両者の交流と事業の啓発活動の一環として交流会を行った。 ・R6. 3. 31現在 提供会員／32人、利用会員／85人、両方会員／1人			
評価内容	評価指標	援助活動回数		
	R4	評価	評価理由	援助活動回数も増え、同一利用者の利用件数も多くなっており、一定のニーズに対応できていると考える。
	10回	A		
	R5		今後の課題	引き続き会員の募集を行うとともに、様々な利用会員のニーズにこたえ るべく、多様な提供会員の確保が必要と考える。
	54回			

事業No.	130003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	市民バザール大会の開催			
事業概要	市民への福祉意識の醸成のため、町内会や地区社協など福祉関係団体の協力を得て市民バザール大会を開催する。			
R5の取組内容	大会運営側の負担やバザール品の調達状況などから、関係団体と協議した結果、令和5年度以降中止となった。			
評価内容	評価指標	(令和5年度当初に中止となったため、指標の設定なし)		
	R4	評価	評価理由	(令和5年度以降中止となったため)
	—	D		
	R5		今後の課題	
	—			

事業No.	(110004) 130004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	＜身近な福祉活動づくり＞ 社会福祉大会の開催【重複】			
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、社会福祉の推進に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表すために社会福祉大会を開催する。（精神保健大会と同時開催）			
R5の 取組内容	令和6年2月14日（水）、第60回銚子市社会福祉大会を開催、第二部として「今日から実践！ストレスをためない生活習慣」と題した講演会を実施した。 ・市長表彰状／4人、市長感謝状／3人1団体、会長表彰状／6人、会長感謝状／4人3団体、支会長感謝状／2人6団体			
評価内容	評価指標	社会福祉大会開催の有無		
	R4	評価	評価理由	社会福祉の各分野で功績のあった方々を表彰するとともに、第二部として実施した健康に関する講演会により、福祉に関する意識や健康問題を自覚することで身近なところで福祉活動を推進できたものとする。
	有	A		
	R5		今後の課題	引き続き、社会福祉大会を実施することが適当と思われる。
	有			

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	(120001) 130005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<身近な福祉活動づくり> 福祉まつりの開催【重複】			
事業概要	様々な福祉関連団体が連携し、利用者や団体等の交流を深めるため、福祉まつりを実施する。			
R5の 取組内容	令和5年12月3日(日)、コロナ禍により4年ぶりに実施。これまでの福祉標語の募集のほか、今年度からは福祉団体の紹介中心のイベントから参加体験型のイベントとして実施した。 ・参加団体 30団体/来場者数 500人			
評価内容	評価指標	来場者数		
	R4	評価	評価理由	4年ぶりに方法を見直し実施したが、30団体の参加となり、来場者も含めた参加体験型のイベントとしたことから、ボランティア団体の活動の理解促進につながったと考える。
	—	A		
	R5	今後の課題	引き続き実施していくが、実施方法の工夫などにより、参加団体や来場者の更なる増加を見込んでいく。	
	500人			

事業No.	130006	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	結婚50周年記念事業の開催			
事業概要	多年にわたり社会に貢献され結婚50周年を迎えたご夫妻に対し、感謝と敬愛の意を表し、今後の生活を豊かにするため、市と共催で記念式典を開催するもの。			
R5の 取組内容	令和5年9月2日(土)、申込みのあったご夫妻に対し記念祝賀会を開催。来賓の祝辞をいただき、赤飯と記念品、お祝いの言葉(市長、社協会長連名)を配布。式典後にはアトラクションを披露する。 ・参加申込者 33組			
評価内容	評価指標	結婚50周年記念事業の開催の有無		
	R4	評価	評価理由	祝賀会へご夫婦で出席することで、改めてお互いに感謝の気持ちが芽生えたとの声もあり、開催の意義はあると考える。
	有	A		
	R5	今後の課題	引き続き祝賀会を実施することが適当と思われる。	
	有			

事業No.	130007 (320002)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<身近な福祉活動づくり> ボランティア連絡協議会の機能強化【重複】			
事業概要	加盟団体自ら会員の増強を図るほか、ボランティア連絡協議会への支援やボランティア相談などを通じたボランティア活動の啓発を行う。			
R5の 取組内容	ボランティア相談やボランティア連絡協議会が主催する福祉まつりを通じたボランティア団体の活動の周知・啓発を実施した。 ・ボランティア相談 7件 ・福祉まつりの共催と助成金による支援(30万円)			
評価内容	評価指標	ボランティア連絡協議会加盟人数		
	R4	評価	評価理由	福祉まつりの参加団体同士の交流や来場者に対する各ボランティア団体の活動の周知・啓発の場となっており、一定の効果はあると考える。
	490人	A		
	R5	今後の課題	引き続き福祉まつりの開催やボランティア相談等を通じ、各団体のPRを行っていく。	
	526人			

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	130008	担当課室	社会福祉協議会			
事業名	ボランティアの育成や活動の推進					
事業概要	ボランティア連絡協議会や加盟団体への支援等を通じボランティアの育成や活動を促進する。					
R5の取組内容	ボランティア活動の周知・啓発やボランティア団体が行う事業等への支援 ・福祉テレフォン、ボランティア相談員の配置、ボランティア連絡協議会研修経費等ボランティア促進事業経費 217,959円					
評価内容	評価指標	年間活動延べ人数				
	R4	評価	A	評価理由		
	2,773人					
	R5					
	5,485人	今後の課題				
				ボランティア活動への支援により活動団体の維持に寄与できたと考える。		
				引き続きボランティア促進事業を行うとともに、さらなるボランティア活動の周知・啓発を行う必要がある。		

事業No.	220001	担当課室	社会福祉協議会			
事業名	ボランティアコーディネート機能の充実					
事業概要	ボランティア活動連絡調整員(コーディネーター)による効果的なコーディネートを行うとともに、住民へのボランティア活動への参加を促進する。					
R5の取組内容	毎月第2、第4水曜日(午前10時から12時)を相談日として、コーディネーターを配置し、ボランティア相談を実施した。					
評価内容	評価指標	相談件数				
	R4	評価	A	評価理由		
	2件					
	R5					
	7件	今後の課題				
				計画どおりコーディネーターを配置した。		
				ボランティア相談事業の啓発とボランティア活動の周知・啓発を引き続き実施する。		

事業No.	220002	担当課室	社会福祉協議会			
事業名	ボランティア活動に関する情報提供の充実					
事業概要	ボランティア活動に関する情報や相談の場を周知することなどにより、住民に対するボランティア情報の提供を行う。					
R5の取組内容	広報ちょうしへボランティア相談の開催日を掲載した。また、福祉まつりにおいて参加体験型イベントとして実施し、来場者にボランティア活動の体験、紹介を行った。					
評価内容	評価指標	広報掲載回数				
	R4	評価	B	評価理由		
	12回					
	R5					
	12回	今後の課題				
				市広報へ相談日の掲載を行ったが、相談における情報提供では十分な情報提供とは言えないが、福祉まつりの実施によりボランティア活動への一定の周知・啓発はできたと考える。		
				相談日の周知だけではなく、各団体の活動をPRできる方策を検討する必要がある。		

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	310001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	心配ごと相談事業			
事業概要	悩みを抱えている人や支援を必要としている人がいつでも相談できるよう、相談事業の情報提供を行う。			
R5の 取組内容	毎月第1、第3金曜日(午前10時から12時)を相談日として、心配ごと相談員を配置した。 ・相談員 4人			
評価内容	評価指標	相談件数		
	R4	評価	評価理由	計画どおり相談員を配置し、相談を実施した。
	11件	A		
	R5		今後の 課 題	心配ごと相談に対応できるよう、引き続き相談員を配置する。
	8件			

事業No.	320001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	地域が一体となった福祉活動の推進			
事業概要	住民と行政、また事業者間の交流を深めるため、各団体が実施する事業の共催、後援等を行うことにより、より充実したネットワークの推進に寄与する。			
R5の 取組内容	各団体が中心となって実施する事業等の共催、後援を実施した。 共催・・・1件 後援・・・6件			
評価内容	評価指標	後援等件数		
	R4	評価	評価理由	コロナ禍の中でも少しずつ各団体の事業も再開しつつあり、従来以上の共催、後援ができた。
	3件	A		
	R5		今後の課題	引き続き、各団体の後援等を行っていく。
	7件			

事業No.	(130007) 320002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	＜地域のネットワークづくり＞ ボランティア連絡協議会の機能強化【重複】			
事業概要	ボランティア連絡協議会の実施する福祉まつりを共催することにより、各団体、事業者間のネットワーク化を図る。			
R5の 取組内容	ボランティア連絡協議会との共催により福祉まつりを実施。ボランティア団体、事業者間の連携を促進した。 ・福祉まつりの共催と助成金による支援(30万円) ・福祉まつり参加団体 30団体／来場者数 500人			
評価内容	評価指標	ボランティア連絡協議会加盟人数		
	R4	評価	評価理由	福祉まつりの参加団体同士や来場者との交流の場となっており、住民や行政、異分野間の事業者のネットワークの推進に寄与していると考える。
	490人	A		
	R5			
	526人		今後の課題	引き続き福祉まつりへの共催を通じ、各分野のネットワーク化を推進する。

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	330001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	福祉テレホンサービス事業			
事業概要	ボランティアが様々な話題をテープに吹き込み、電話を通じて視覚障害者に様々な情報を届けている。また、図書の新刊案内も行っており、希望がある図書はCDに録音し、貸出しを行っている。			
R5の取組内容	福祉テレホンテープ録音 50巻(週1回取替)			
評価内容	評価指標	利用件数		
	R4	評価	評価理由	市内視覚障害者のみならず、市外からの架電もある。利用回数も一定数あり、視覚障害者への情報提供に一定の役割を果たしていると考え
	1, 548件	A		
	R5	今後の課題	引き続き内容等充実しながら実施していく。	
	1, 573件			

事業No.	330002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	交通遺児激励見舞金給付事業			
事業概要	交通事故により父母等が死亡した義務教育終了前の児童、生徒等に対し、見舞金(20,000円)を支給する。			
R5の取組内容	対象者がおらず未給付			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R4	評価	評価理由	民生委員調査に対する申出制であり、確実な対象者の把握が困難である。
	0件	B		
	R5	今後の課題	様々な機会をとらえ、事業の周知・啓発が必要と考える。	
	0件			

事業No.	330003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	福祉物品の貸付事業			
事業概要	住民福祉の向上を目的に、市民や市内団体等に車いすや高齢者疑似体験セット、かき氷機や大型綿菓子機など銚子市社会福祉協議会所有の用具を貸し出し(無料、原則15日以内)する。			
R5の取組内容	市民や市内団体に、13種、241件の貸出しを行った。			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R4	評価	評価理由	令和5年度は、貸付件数も増えており、一定の効果はあると考える。
	207件	A		
	R5	今後の課題	今後も利用者の要望等も把握しながら更なる周知に努める。	
	241件			

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	330004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	手話講習会の開催			
事業概要	視覚障害者への理解と視覚障害者に対する福祉サービスの充実の一助とするため、市内在住、在勤者を対象に初心者向けの手話講習会を実施する。			
R5の取組内容	開校式、閉校式、実技を合わせ10日間(10回)のコースで実施。 募集人員 20人、参加申込者 19人、修了者(7回以上) 16人			
評価内容	評価指標	開催回数・受講者数		
	R4	評価	評価理由	コロナ禍を過ぎ、手話講習会(初級)を再開した。
	0回・0人	A		
	R5	今後の課題	引き続き内容等充実しながら実施していく。	
	10回・19人			

事業No.	330005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	寝たきり高齢者等への給付事業(在宅介護事業)			
事業概要	在宅介護事業の一環として、在宅の寝たきり高齢者及び寝たきり身体障害者並びに重度知的障害者に対し、見舞金(5,000円)を支給する。			
R5の取組内容	民生委員調査により把握した対象者に対し、見舞金を支給した。 寝たきり高齢者 28人、寝たきり身体障害者 8人、重度知的障害者 14人			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R4	評価	評価理由	民生委員調査に対する申出制であり、確実な対象者の把握が困難である。
	53件	B		
	R5	今後の課題	様々な機会をとらえ、事業の周知・啓発が必要と考える。	
	50件			

事業No.	330006	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	在宅障害者交流事業(イベント、バスハイク)			
事業概要	市内在住の障害者と地域住民、ボランティアとの交流の場として、バスハイクを実施する。			
R5の取組内容	バスハイク事業 ・実施日 令和5年10月28日(日) ・行 先 国立歴史民俗博物館(佐倉市) ・募集人員 30人 参加者数 24人			
評価内容	評価指標	参加率(参加者数/募集人員)		
	R4	評価	評価理由	申込後の不参加申出が多かった。
	96.7%	B		
	R5	今後の課題	申込後のキャンセルを見込んで、キャンセル待ちなどの仕組みを検討する必要がある。	
	80.0%			

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	410001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	各種福祉団体への助成			
事業概要	地区社会福祉協議会など福祉活動を行う団体へ助成を行う。			
R5の取組内容	助成団体 地区社会福祉協議会 13団体(1,950,000円) その他福祉活動団体 23団体(2,142,704円)			
評価内容	評価指標	助成団体数		
	R4	評価	評価理由	概ね申請通り助成しているが、助成団体が固定化しつつある。
	31団体	B		
	R5		今後の課題	助成金の原資となる共同募金が減少している中で、財源の確保が課題である。
36団体				

事業No.	410002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	民生委員・児童委員協議会事務局の円滑な運営			
事業概要	民生委員・児童委員協議会の事務局事務を行うことにより、協議会の円滑な運営に寄与する。			
R5の取組内容	協議会の会議の準備、当日の進行のほか、調査報告のとりまとめなど、協議会事務全般にわたり運営を支援した。 総会・理事会・監査 8回／地区会長会議 1回／部会会議 6回／その他 14回			
評価内容	評価指標	協議会会議等開催回数		
	R4	評価	評価理由	協議会活動全般にわたり、運営に携わっており、事務局としての役割を担っている。
	26回	A		
	R5		今後の課題	引き続き事務局事務を担っていく。
29回				

事業No.	410003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	保護司会事務局の円滑な運営			
事業概要	保護司会の事務局事務を行うことにより、保護司会の円滑な運営に寄与する。			
R5の取組内容	保護司会の会議の準備、当日の進行のほか、経理、報告書のとりまとめなど、保護司会事務全般にわたり運営を支援した。 総会・理事会・監査 3回／役員会 7回／社明活動 5回／部会会議 8回／その他 8回			
評価内容	評価指標	保護司会会議等開催回数		
	R4	評価	評価理由	協議会活動全般にわたり、運営に携わっており、事務局としての役割を担っている。
	31回	A		
	R5		今後の課題	引き続き事務局事務を担っていく。
31回				

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	420001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	災害ボランティアセンター運営体制の構築			
事業概要	災害ボランティアセンターの円滑な運営のため、連絡調整会議を設置するなど、関係団体等との連携強化を図るとともに、災害ボランティアセンターを運営するための訓練や研修会などを実施、参加する。			
R5の取組内容	連絡調整会議のほか、関係団体が実施する研修会に参加した。また、令和6年1月23日には市と「災害時における災害ボランティアセンターの設置及び運営等に関する協定」を締結した。 連絡調整会議 1回／海匠地区社協・連絡調整会議研修会1回／その他研修会 3回／			
評価内容	評価指標	連絡調整会議等の開催回数		
	R4	評価	評価理由	会議等の参加や机上訓練は行うも、具体的な設置訓練までには至っていない。
	5回	B		
	R5		今後の課題	設置運営マニュアルを紙媒体で整備しているが、近年ではアプリを活用したセンターの運営も広がりつつあり、今後の方向性を検討する必要がある。
	5回			

事業No.	420002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	善意銀行の円滑な運営			
事業概要	労力、技術、金銭、物品について、市民からの善意の提供を受け、生活に困窮し善意を必要とする者にあっせんする。 近年は、金銭のみ(概ね10,000円)の貸付となっている。			
R5の取組内容	貸付件数 4件(40,000円)			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R4	評価	評価理由	件数は少ないながらも、実施しているが、金銭のみの申請となっている。
	3件	B		
	R5		今後の課題	現在は善意の提供がなく、これまでの積立で対応している。また、金銭以外の相談がなく、今後の在り方について検討する必要がある。
	4件			

事業No.	420003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	法外教育援護事業			
事業概要	生活に困窮する準要保護世帯の小中学校の児童・生徒に対し、学校用品購入費として4,000円／人を給付する。			
R5の取組内容	給付時期 年末 給付対象者 小学生 115人(460,000円)／中学生 83人(332,000円)			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R4	評価	評価理由	対象者への情報提供も行っており、生活支援の一助となっていると考える。
	227件	A		
	R5		今後の課題	引き続き事業を実施していく。
	198件			

地域福祉活動計画取組状況確認票(R5:社会福祉協議会)

事業No.	420004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	生活資金等貸付事業(市からの委託事業)			
事業概要	低所得世帯の生活支援のため、高額療養費、出産育児費、生活資金を貸し付ける。			
R5の取組内容	高額療養費 1件／出産育児費 0件／生活資金 11件			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R4	評価	評価理由	件数は少ないものの、資金貸付により低所得者の生活支援につながっており、引き続き実施する。
	18件	A		
	R5	今後の課題	返済も令和3年度以降は、すべて償還済みであり、今後も事業の周知など積極的に行っていく。	
	12件			

事業No.	420005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	生活福祉資金等の貸付事業(県社会福祉協議会からの委託事業)			
事業概要	低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対して、自立と生活の安定を進めるため、資金の貸付や民生委員をはじめとする関係機関との調整、相談などの支援を行うとともに、貸し付けた資金の債権管理を行う。			
R5の取組内容	相談件数 100件／貸付件数 2件 令和6年3月末現在 管理債権数 1,073件			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R4	評価	評価理由	貸付を利用できた方は生活再建の一助になっている。相談件数に対して対象外である場合が多いことから貸付件数が少なく、関係機関へつなぐケースが多い。
	15件	B		
	R5	今後の課題	低所得世帯等への貸付であることから、返済が滞ることが多く、貸付後も関係機関と協力しながら償還指導を行っていく必要がある。	
	2件			

事業No.	430001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	日常生活自立支援事業			
事業概要	高齢者や障がい者などで支援員等の定期的な訪問により、福祉サービスの利用支援(福祉サービス利用援助)や、生活費・医療費・税金・公共料金の支払いなど日常的な金銭管理(財産管理サービス)、通帳や権利証など重要な書類等の預り(財産保全サービス)を行う。			
R5の取組内容	前年度末利用者数 29人、解約者数 6人、新規契約者数(移管含む) 6人、当該年度末利用者数 29人			
評価内容	評価指標	利用者数		
	R4	評価	評価理由	定期的な訪問により、金銭管理のみならず、健康状態や生活状態も確認しており、場合によっては必要な機関との連携など、利用者の生活支援に大きく寄与している。
	29人	A		
	R5	今後の課題	引き続き、周知・啓発を行っていく。	
	29人			